

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 24 年 2 月 2 日 (2012.2.2)

【公開番号】特開 2008-221843 (P2008-221843A)  
 【公開日】平成 20 年 9 月 25 日 (2008.9.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-038  
 【出願番号】特願 2008-54286 (P2008-54286)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/175 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 13 日 (2011.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

相変化インクイメージング装置のインク送給系に入れて用いるインクスティックであって、

相対向する第一、第二の端面及び相対向する第一、第二の側面を有しその鉛直中心軸について回転対称な本体と、

第一、第二の端面上に形成され互いに相補的な形状を有する面状の連結部と、

第一、第二の側面上に形成され互いに同一の形状及び鉛直中心軸について互いに回転対称な位置を有するキー部と、  
 を備えるインクスティック。

【請求項 2】

請求項 1 記載のインクスティックであって、各側面上のキー部は、各々、1 個の凹部を有するインクスティック。

【請求項 3】

請求項 2 記載のインクスティックであって、各側面上に形成された第 2 キー部をさらに備え、各側面上の第 2 キー部は、互いに同一の形状に形成され、鉛直中心軸について互いに回転対称な位置を有するインクスティック。

【請求項 4】

請求項 1 記載のインクスティックであって、面状連結部は、各々、鉛直方向に延伸する凹部及び鉛直方向に延伸する凸部のうち少なくとも 1 つを備えるインクスティック。

【請求項 5】

請求項 4 記載のインクスティックであって、面状連結部は、各々、鉛直方向に延伸する凹部と、それに隣接し鉛直方向に延伸する凸部とを備えるインクスティック。

【請求項 6】

請求項 5 記載のインクスティックであって、面状連結部は、各端面に対してほぼ垂直な平面に S 字状の輪郭を有するインクスティック。

【請求項 7】

請求項 1 記載のインクスティックであって、第一の端面上に形成された面状連結部は、インク送給系において隣接するインクスティックの第二の端面の相補的形狀を有する面状連結部とかみ合い、隣接しあうインクスティック同士の送給路における横方向の相対的移動が制限されるように構成されたインクスティック。

【請求項 8】

請求項 1 記載のインクスティックであって、本体が、少なくとも 2 種類の向きで相補的形狀のインク装填装置のキー付き挿通口を介して挿入されるように構成されたインクスティック。

【請求項 9】

請求項 8 記載のインクスティックであって、少なくとも 2 種類の向きが、上記一方の端面が先端面になり、上記他方の端面が後端面になる第 1 の向きと、上記他方の端面が先端面になり、上記一方の端面が後端面になる第 2 の向きであるインクスティック。

【請求項 10】

相変化インクイメージング装置に入れて使用するインクスティックであって、  
第一、第二の端面及び相対向する第一、第二の側面を有する本体と、  
第一、第二の端面上に形成され互いに相補的な形狀の略鉛直方向輪郭を有する面状の連結部と、

第一、第二の側面上に形成され互いに同一の形狀を有し且つ本体の鉛直中心軸について互いに回轉対称な位置を有するキー部と、

を備えるインクスティック。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】